

心ときめく数学の世界をあなたに



『数学ガール／結城浩／SB Creative 2007年』

著者紹介	本を書く生活がおよそ30年。著書はおよそ60冊。プログラミング言語、デザインパターン、暗号、数学などの分野で入門書を執筆。2014年度日本数学会出版賞受賞。(SB Creative HPより抜粋)
本の内容	2002年から結城浩のWebサイトで公開されてきた「数学ガール」は、読者からの熱いエールで書籍化が実現。それ以来、数学青春物語の代表作となりました。本書は、三人の高校生が数学の問題に挑戦する物語。題材は「素数」「絶対値」という基本的なものから「フィボナッチ数列」「二項定理」、「無限級数」や「テイラー展開」、「母関数」まで多岐にわたっています。読み物形式でありながら、取り扱う数学的内容は本格的。数学クイズが好きな一般の方から、理系の大学生、社会人まで幅広い読者に楽しんでもらえる数学物語です。数式が苦手でも大丈夫。登場する高校生自身も数式で悩み、ああでもない、こうでもないと思いを共有します。数式が追えなくても「旅の地図」と称した概念図で読者さんの理解を助けます。《数学は、時を越える》をテーマにおいた本書は、本格的な数学の奥深いおもしろさをすべての読者に提供するでしょう。(結城浩さんのHPより)
こんな人に読んでほしい	数学が好きな人、なんとなく数式を使っている人
おすすめコメント	工学の世界においても、研究内容を最も正確に、最も誤解なく伝える方法が「数式」ではないでしょうか？本書の中で、こんな言葉があります。 『数学は言葉を大事にする。できるだけ誤解が生じないようにするために、数学は言葉を厳密に使うんだ。そして——厳密な言葉の最たるものが数式だ』 数式を単なる計算ツールではなく、最強の言語として利用してもらいたい。数式を見るのが楽しくなる、数学が好きになるおすすめの一冊です。

配置場所は[こちら](#)

教育推進センター／小畑 久美